

開講年次・時期	1年前期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	必修	授業形態	講義	単位数	2単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	NK220	科目名	社会福祉総論	担当者名	棟方 梢(実務家教員)
授業の概要	社会福祉についての概要を理解し、保育や児童福祉に関わる上で求められる専門的な視点を学ぶ。歴史的な過程や背景を概観し、現在の状況についての理念や法体制を学ぶことを目的とする。				
科目の到達目標	①現代社会における社会福祉の意義と歴史的変遷について理解できるようになる。 ②社会福祉の制度や実施体系等について理解できるようになる。 ③社会福祉の動向と課題について理解できるようになる。				
DPの観点	⑤社会性 ⑥専門知識・技能 ⑩問題解決力				
授業時間外学修(予習・復習)	テキストの専門用語の予習・復習を行う。(15分程度)				
フィードバックの方法	提出課題やリアクションペーパーにコメントを付して返却				
単位認定の要件	演習で実施した課題の発表と提出物を単位認定の条件とする。 毎回の授業の活動・課題の総合評価とする。				
評価の方法・割合(%)	授業内活動80% リアクションペーパー及びレポート20%				
履修上の注意事項					

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			社会福祉の基本となる理念や考え、社会福祉の対象とその全体について学ぶ。	⑥	リアクションペーパー
2			社会福祉がつけられた歴史的背景をもとに、社会福祉需要の変容について学ぶ。	⑥	リアクションペーパー
3			海外における社会福祉の歴史的背景をもとに、諸外国の動向について学ぶ。	⑤⑥	リアクションペーパー
4			社会福祉の対象と全体について学びながら、子ども家庭福祉の考え方について理解を深める。	⑤⑥	リアクションペーパー
5			福祉サービスの提供について学び、家庭や地域を含めた支援のあり方について理解する。	⑤	リアクションペーパー
6			現代の社会福祉が、いかなる法制度体系によってサービス提供されているのかを理解する。	⑤⑥	リアクションペーパー
7			社会福祉行政の意義と類型について学び、サービス評価の方法についても併せて理解を深める。	⑤	リアクションペーパー
8			社会福祉従事者の現状と社会福祉の担い手としての専門職について理解し、その倫理について学ぶ。	⑥	リアクションペーパー
9			社会福祉従事者の専門性と理論について学ぶ。	⑥	リアクションペーパー
10			相談援助の展開過程や相談援助技術の体系について学ぶ。	①③⑦	リアクションペーパー
11			福祉サービスのための組織運営について理解を深めながら、権利擁護の基本的な考え方と苦情解決について学ぶ。	①③⑦	リアクションペーパー
12			少子高齢化社会の現状について理解する。	⑩	リアクションペーパー
13			少子高齢化対策についてグループワークを用いて考える。	④⑩	リアクションペーパー
14			保健・医療等関係分野の専門職との連携のあり方について理解を深め、福祉の地域力について考える。	⑥⑩	リアクションペーパー
15			今後の社会福祉の動向と課題について理解する。	⑤	レポート
期末試験					

使用テキスト	『図解で学ぶ保育 社会福祉』(株式会社萌文書林)
参考文献	『新基本保育シリーズ社会福祉』第4巻(中央法規出版)
参考URL	『学ぶ・わかる・みえる シリーズ保育と現代社会保育と社会福祉』[第2版](株式会社みらい)
備考	進行状況により、授業のテーマ・内容は変更になる場合がある。

DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--